

# 「琵琶湖保全再生施策に関する計画」の概要

## 計画期間

○平成29年度(2017年度)から平成32年度(2020年度)までの4年間です。

## 趣 旨

- 水質の現状や、在来魚介類の減少、水草の大量繁茂、外来動植物の増加などの課題がある中、「琵琶湖の保全及び再生に関する法律」、「琵琶湖の保全及び再生に関する基本方針」を受けて決めました。
- 滋賀県および滋賀県内の市町が、多様な主体の参加と協力を得て、琵琶湖保全再生施策を総合的・効果的に推進します。
- 琵琶湖と人との共生を基調とし、「共感」「共存」「共有」が重要であるとの認識の下、琵琶湖の保全再生を推進します。



## 琵琶湖と人との共生

### 共感

琵琶湖の重要性や、保全・再生についての「共感」を得る

### 共存

琵琶湖の保全と多様で活力のある暮らしとの「共存」を図る

### 共有

琵琶湖の価値を将来にわたって「共有」できるよう努める

## 目指すべき姿

### 琵琶湖と人とのより良い共生関係の形成

- 固有種を含む琵琶湖の豊かな生態系や生物多様性を守る
- 健全な水循環の下で人々が豊かな暮らしを営む
- 文化的、歴史的にも価値のある琵琶湖地域の伝統、知恵を十分に考慮した文化を育む



# 琵琶湖の保全再生に向けた様々な施策

## 水産資源の適切な保存および管理

- 漁場の再生・保全
- 在来魚の産卵条件に即した増殖環境のあり方の検討
- 水産動物の種苗放流
- 資源管理型漁業の推進
- 琵琶湖や河川における漁業の持続的発展

## 陸水域における生物生育環境の連続性の確保

- 魚道の整備、河川での魚類生息環境の保全手法の検討

## 多様な主体による協働の推進

- 多様な主体の協働と交流の推進
- 住民、特定非営利活動法人等への活動支援

## 教育の振興

- 「うみのこ」「やまのこ」「たんぼのこ」など学校における環境教育への支援
- 食育の推進による滋賀の食文化の継承

## 調査研究

- 琵琶湖の水質や生態系に関する継続的な監視・調査、課題の要因解明・対策の検討

## 広報・啓発の実施

- 国内外への広報・啓発

## 水草の除去等

- 水草の除去等
- 湖岸漂着ごみ等の処理
- 湖底の耕うん、砂地の造成等

## 景観の整備および保全

- 琵琶湖を中心とした景観の整備・保全
- 文化的景観の保存・整備

## カワウによる被害防止等

- カワウの防除対策

## 生物多様性の保全の推進

- 生物多様性や希少種の調査

## 水質の汚濁の防止および改善

- 持続的な污水处理システムの構築
- 面源負荷対策
- 流入河川・底質改善対策

## 観光、交通、その他産業

- エコツーリズムの推進等
- 琵琶湖の特性を活かした観光振興等
- 湖上交通の活性化

## 湖辺の自然環境の保全および再生

- ヨシ群落の保全・再生
- 内湖等の保全・再生
- 砂浜、湖岸、湖岸の緑地の保全・再生

## 外来動植物による被害防止

- 外来動植物への対策

## 体験型の環境学習の推進

- 農業体験、森林・林業体験、魚を学ぶ体験学習、琵琶湖博物館等における体験学習、自然観察会等
- 特定非営利活動法人や事業者のCSR活動との連携

## 琵琶湖の環境と調和のとれた産業の振興

- 環境に配慮した農業の普及
- 山村の再生と林業の成長産業化
- 琵琶湖の環境と調和のとれた産業の振興

## 水源のかん養

- 水源林の適正な保全・管理
- 森林資源の循環利用による適切な森林整備の推進
- 森林生態系の保全に向けた対策の推進
- 農地対策



## 琵琶湖を「守る」ことと「活かす」ことの好循環

琵琶湖の保全再生に向けた「守る」取組、「活かす」取組に、「支える」取組を加えて好循環させることにより、琵琶湖と人とのより良い共生関係を形成します。

### 琵琶湖を「守る」

琵琶湖とその周辺には、世界に誇れる価値がたくさんありますが、様々な課題も存在しています。

琵琶湖の価値を守るためには、多様な主体による課題解決に向けた取組が必要です。

#### ○水産資源の回復

ニゴロブナ、ホンモロコ、アユ、セタシジミなど水産重要種の増殖・放流や、資源管理型漁業を進めます。



#### ○外来動植物の防除

ブラックバスやブルーギルなどの外来動物や、オオバナミズキンバイなどの侵略的外来植物を防除し、琵琶湖の生態系を守ります。



#### ○水草の除去

増えすぎると悪臭や船舶の航行障害の原因となるため、刈取り等の対策を進めます。



#### ○ヨシ群落の保全

在来魚の産卵場所となるなど、生物多様性にとって重要であるヨシの造成・再生・維持管理を推進します。



#### ○水源林の適正な保全および管理

森林を健全な姿で未来に引き継ぐために、多面的機能の持続的発展に向けた適正な森林の保全・管理の取組を推進します。



### 琵琶湖を「活かす」

琵琶湖の価値を守りつつ、それを活かした産業や観光などを振興します。

琵琶湖を活かす取組は、琵琶湖の保全再生に対する思いを更に強めることに繋がります。

#### ○琵琶湖や河川における漁業の持続的発展

琵琶湖産魚介類の消費拡大や流通促進、輸出促進に向けた施設整備や新規漁業就業者の確保・育成を推進します。



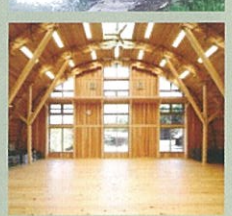
#### ○環境に配慮した農業の推進

農薬や化学肥料の使用量を通常の半分に減らす「環境こだわり農業」や、在来魚が琵琶湖と水田を行き来し産卵・繁殖する「魚のゆりかご水田」などを推進します。



#### ○山村の再生と林業の成長産業化

自然資源の再発掘による山村の再生や、森林資源の循環利用につながる林業の成長産業化を推進します。



#### ○体感・体験による琵琶湖とのふれあい推進

琵琶湖の特性を活かしたピワイチなど、体感・体験により琵琶湖とふれあうエコツーリズムや観光、スポーツを推進します。



## 好循環

### 琵琶湖を「支える」

琵琶湖保全再生の好循環を作り出すためには、調査研究や多様な人材による支えが必要です。

新たな技術を生み出すこと、琵琶湖について学ぶこと、多様な主体により協働で取り組むことは、琵琶湖の保全再生を更に推進します。

#### ○琵琶湖の水質や生態系に関する継続的な研究

琵琶湖の水質や生態系に関する調査を行い、総合的な視点で課題の要因を解明し、対策を検討します。また、調査研究に関する体制整備や人材育成、具体的な対策に関する技術等の研究開発を推進します。

#### ○体験型環境学習の推進、環境教育への支援

体験型の環境学習(農業体験、森林・林業体験、魚を学ぶ体験学習、自然観察会等)を推進します。また、「うみのこ」「やまのこ」「たんぼのこ」などの環境教育や、滋賀の食文化を子どもたちなどに伝えるための活動を支援します。

